

ちば里山カレッジ実施報告書 (5)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	<p>第 5 回 講義「森林・里山についての知識の習得 2」</p> <p>講義：「里山の管理技術 ②人工林 ③竹林」</p> <p>講演：「千葉の美しい自然・里山とそこに生息する生きもの」</p> <p>講義：「里山の病虫獣害」</p> <p>里山活動団体の紹介 「一緒に里山ボランティア活動をしませんか！」</p>
日時	平成 25 年 11 月 9 日 (土) 9:00～16:00
場所	ちば里山センター 会議室
出席者	<p>受講生 33 名</p> <p>講 師：千葉県森林研究所 主席研究員 福島成樹</p> <p>日本野鳥の会 千葉県幹事 加藤恵美子</p> <p>石谷樹木技術士事務所 樹木医 石谷栄次</p> <p>活動団体：富津市「株千葉農産」 福祉部 石川直子</p> <p>袖ヶ浦市「里山を歩く会」 代表 若本重男</p> <p>市原市「風呂の前里山保存会」 代表 中山美知子</p> <p>千葉市「ちば森づくりの会」 代表 林 隆通</p> <p>君津市「房総森輪会」 代表 岡部 正史</p> <p>市原市「市原米沢の森を考える会」 代表 鶴岡清次</p>
内容	<p>① 「里山の管理技術 ②人工林 ③竹林」 福島成樹講師</p> <p>はじめに人工林について、地ごしらえから植栽し手入れをして木材生産林に仕上げるための、管理技術についての講義。</p> <p>続いて竹林の管理技術について講義。竹林の現状と竹林拡大が招く問題点やその解決法拡大防止技術等大変興味深いお話だった。最後に里山活動の際注意すべき点を話された。質疑応答も活発になされた。</p> <p>② 「千葉の美しい自然・里山とそこに生息する生きもの」 加藤恵美子講師</p> <p>講師撮影の画像を展示。さらに映像により千葉の里山の四季折々の生き物を紹介された。荒廃した里山に生きるものと生きられないもの、里山の手入れにより蘇生するものと生きていけなくなるものがいて、それを思うと里山整備の狭間で悩むこともあると話された。「生き物の命の鎖をいつまでも断ち切ることはないように、私たちがいまやるべきこと・出来ることとは何でしょうか？」と問題提起された。</p> <p>③ 「里山の病虫獣害」 石谷栄次講師</p> <p>自然の中に生きる動植物の多様性及びそれぞれの利害関係や特に害をもたらす生物についての講義があった。</p> <p>森林で活動する際の服装や森林の持つ危険性などについての注意事項が講義された。</p> <p>④ 引き続き活動団体代表により、各団体の活動について紹介発表があった。</p>
備考	インターンシップの場として活用するために、各活動団体の活動について興味を持っている様子でいろいろ質問していた。

添付資料 (写真)



① 福島講師



質疑応答



竹林管理 PPT



②加藤講師



③石谷講師



(株)千葉農産



風呂の前里山保存会



房総森輪会



ちば森づくりの会



里山を歩く会



市原米沢の森を考える会

加藤講師の画像より



報告書作成：杉田 初代